

前回の審議会の振返り

- 「西脇こども会議」で「まちづくりのとびらをあけてみたら」をアレンジしたワークショップを開催したが、子どもたちにまちづくりを考えてもらういい機会となった。
- まちづくり活動に携わる方に活用してもらえるワークシートができないか。
- こども会議の流れと同じ流れで、大人もまちづくり活動について検討してみてもどうか。

ワークシートの内容も重要ではあるが、**活用できる場を確保することが重要**

活用できる場(対象)は？

- まちづくり活動のリーダー
- まちづくり活動の参加者

➡既にまちづくり活動に取り組まれているため、関心は一定程度あり、定期的に集まって話し合う場も設けられている。
活動をブラッシュアップするのに役立つ内容であれば使用してもらえるのでは？

★異なるアプローチが必要

- まちづくり活動の予備軍
- まちづくり活動の未認識者

➡まちづくり活動への関心を高める方策(まちづくり活動の事例紹介や「まちづくりのとびらをあけてみたら」を使用した啓発など)が必要

ワークシートの第1弾として

既存事業の見直しワークシート

を作成

- 目的
- ・団体内の誰もが声を上げやすい対話の場の創出
 - ・これまでの活動を見直すことで、まちづくり活動者が持つ課題解決に繋げてもらう

スタッフの高齢化・
担い手不足

財源不足

事業のマンネリ化

etc...

負担軽減
(持続可能性の向上)

資源(人やお金)の
適正配分

新しいニーズへの
適応

- ・部会の設置・統廃合
- ・外部人材の活用 など

- ・参加費等の見直し
- ・実施事業の拡充、縮小、統廃合 など

- ・事業内容の見直し
- ・地域課題・住民ニーズの再確認 など